

FMCホットフィックスバージョンの表示動作の 明確化

内容

お問い合わせ内容

バージョン7.6.5-106を実行しているFirewall Management Center(FMC)にホットフィックス
CY(Cisco_Secure_FW_Mgmt_Center_Hotfix_ [CY-7.6.5.1-2.sh](#).REL.tar)を正常にインストールした
後で、ユーザインターフェイス(UI)に表示されるバージョン番号と [show version](#) コマンドの出力に
、ホットフィックスバージョンではなく7.6.5-106と表示されます。インストールはエラーなしで
完了しましたが、ホットフィックスのインストールを反映するためにバージョン番号を変更する
必要があるかどうかについては不明です。



Firewall Management Center

Version 7.6.5 (build 106)

Model	Cisco Secure Firewall Management Center 1600
Serial Number	
Snort Version	2.9.23 (Build 5010)
Snort3 Version	3.1.79.400 (Build 43)
Rule Pack Version	3265
Module Pack Version	3662
LSP Version	lsp-rel-20260729-2041
VDB Version	build 406 (2025-04-07 10:41:04)
Rule Update Version	2026-07-29-001-vrt
Geolocation Version	2026-07-11-084
OS	Cisco Firepower Extensible Operating System (FX-OS) 2.16.1 (build 147)
Hostname	FMC1600-4

For technical/system questions, email tac@cisco.com phone: 1-800-553-2447 or 1-408-526-7209. Copyright 2004-2026, Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Copy

Close

No Data

<#root>

>

show version

```
-----[ FMC1600-4 ]-----  
Model : Cisco Secure Firewall Management Center 1600 (66)
```

Version 7.6.5 (Build 106)

```
UUID : 12345678-1234-1234-1234-1234567890  
Rules update version : 2026-07-29-001-vrt  
LSP version : lsp-rel-20260729-2041  
VDB version : 406  
-----
```

環境

FMCバージョン7.6.5-106他のソフトウェアバージョンも影響を受ける可能性があります。

解決策

これは、FMC（およびFTD）ホットフィックスのインストールで想定される動作です。ホットフィックス（たとえば、7.6.5ビルド106の上に7.6.5.1-2がインストールされているなど）をインストールした場合、UIおよびshow versionコマンドの出力に表示されるソフトウェアバージョンおよびビルドは、基本リリースバージョン(7.6.5-106)のままです。ホットフィックスは個別に検証され、表示されるベースバージョン文字列は変更されません。

ホットフィックスのインストールの確認

ファイアウォールにホットフィックスがインストールされていることを確実に確認するには、次の手順に従ってFMC CLIからパッチ履歴を確認します。

1. エキスパートモードに入ります。

```
<#root>
```

```
>
```

```
expert
```

2. パッチ履歴を表示します。

```
<#root>
```

```
device:~$
```

```
cat /etc/sf/patch_history_detailed
```

```
[250424 08:16:59.099] Install 7.4.2-172  
[260302 03:02:19.459] Upgrade 7.4.5-2  
[260804 12:38:10:676] Upgrade 7.6.5-106  
[260804 12:50:53:636]
```

Hotfix Hotfix_CY-2

その他の考慮事項

将来のアップグレードで「レディネスチェック」を使用する場合、パッチ履歴 (UIバージョン文字列ではない) からホットフィックスステータスが判別されるため、この動作は正常であり、アップグレードに影響を与えません。

原因

これは、FMCホットフィックスのインストール用に設計された動作です。パッチ履歴でホットフィックスのインストールを個別に追跡しながら、ベースソフトウェアバージョンの表示を維持します。

関連コンテンツ

- [Cisco Secure Firewall Threat Defenseホットフィックスリリースノート](#)
- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)
- Cisco Bug ID CSCwb10571

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。